

presents by NETTAI



presents by NETTAI

BORNEO SABAH

2025/05/16-23

ABOUT RESPECT



RESPECTとは、「RESPonsible Elephant Conservation Trust」の略称であり、マレーシア・サバ州を拠点に活動する人間とゾウの共存を目指して設立された信託団体です。

myrespect.org



ABOUT RESPECT



設立の背景

2018年3月1日、サバ州テロピッドのSMKテロピッド校にゾウが侵入するという出来事が発生し、これをきっかけに、人とゾウとの衝突をどのようにすれば減らし、解決できるかを考える有志たちが集まりました。議論の結果、人と野生動物が安全に共存できる環境づくりを支援するための信託団体の設立が提案、2021年2月9日に正式に登録されました。

活動内容

- サバ州森林局や野生動物局、観光・文化・環境省などとの協議
- ネピアグラスの植栽活動や環境保全プロジェクトの実施

RESPECTは、ゾウと人間のあいだに生じる衝突を最小限に抑え、調和のとれた共存を実現するための活動を行っています。





観光はほぼなし、サイチョウ保全プロジェクトと、ゾウのフードコリドープロジェクトの体験のみ、そんな旅にご案内して参加者の皆さんはほんとに満足してくれるのだろうか？できるだけたくさんの野生動物や熱帯雨林の植生を観察できる機会をつくらないと、安くもない旅費と結構な時間を費やしてついてきてくださる皆さんに申し訳ないのでは...そんな不安もあったけど、なんのなんの、終わってみれば結構皆さん楽しんでくださったご様子。僕自身の充実感もかなりのもの。いけるんちゃうのん、これ...おまけにボートクルーズではオランウータンのゴールデンシャワーのご褒美まで...こんなのいくら願ってもなかなかいただけるものではありません。このツアーまたやってもいいかも、そんな自信もいただきました。

自称大阪一のBL (BORNEO LOVE)

NOBUO



今回も充実した濃い毎日を過ごせました。
みなさんありがとうございました！ 今までお話だけを聞いていたプロジェクトを生で見て体験して、より自分の見聞が広がりました。
みんなで体験しながら、こうやってたのしむ旅がすきだなと改めて思いました。
あと芋虫も初めて食べました。食べた直後は次はもういらないかなーと思ったけど、こうやって思い出すと熱帯部専属シェフによる調味料につけて再チャレンジもありかなとか思っている自分もいます🎵

バイタリティの塊
KANAKO



ステキ！快適！熱帯の森♡

昼間の太陽はさすがに強烈、でも朝夕の空気はしっとり涼しくて最高です。日本の夏より断然良い！もっと居たかったなあ。ただ、蚊が「かい〜（関西弁で痒い）敵」ですが(笑)。

私がこの森で大好きな一つは森の音。鳥のさえずりが美しい！テナガザルの声は何より大好き！朝、一人で村を散歩していると目の前をカニクイザルの群れが動き、遠くにテナガザルの声が響く、もう最高でした。

もちろん音だけでなく野生の動物と間近に出会えることがとても嬉しい。眺めていて飽きることがないです。でも、この愛おしい生き物たちが暮らす場所が壊されていることには心が痛みます。

保全活動の見学や体験をして保全活動の大変さを実感できたことも今回の大きな収穫でした。この大変な作業を続ける現地の方々の生き物たちを愛する優しい気持ちもいっぱい伝わってきました。

同行してくれた皆さんありがとう！また一緒に行きたいね。とても気持ちよく過ごせました。これから日本で自分にできることを考えて実行しながらまた現地に向かう日を待ちます。

特技は吹き矢

M さん



「やって来ましたボルネオ！」

念願だった「野生動物が見たい！」が遂に実現しました。
クルーズ早々テングザルやオランウータン、シルバーリーフモンキーそしてサイチョウ等珍しい鳥が次々見れたのには正直驚きました。
ビリットに移動中、車窓からの見渡す限りのあまりに広大なプランテーション、川岸まで迫るアブラヤシ、「失われた森」の現実
は衝撃でしかありません。
大自然の中風を切って進むクルーズ、真っ暗ワクワクのナイトウォーク、
現地保全スタッフとの交流、妙に楽しかったゴマントン洞窟での猿に囲まれながらのドラゴンフライ待ちなど楽しい思い出と共に現状を知るツアーでもありました。
よく食べ、よく飲み、よく笑い
皆さん楽しい時間をありがとうございました。

実はいちばんの元気の塊

■ さん



必殺遊び人

S さん

乳白色の厚いヴェールに包まれて流れるキナバタンガン、深い霧の奥から聞こえてくる名も知らぬ鳥の声、シルエットになって樹上から見下ろしているテングザル、グリグリ目と背中ของギザギザだけを水面にのぞかせて悠々と泳ぐワニ、見上げるとあっという間に対岸の森へ消えていくサイチョウの夫婦、ハラハラと木の葉を散らしているのは若いオランウータン、密林のけもの道に足を踏み入れると真新しいゾウの足跡・・・。

雨にも負けず、泥にも負けず、ヒルの恐怖にも負けないで、朝、昼、晩のクルーズやウォーキングで出会った熱帯に生きる野生生物たちの姿に感動！そこには確かにまだ野生の生物たちがいた。

今回の目的はゾウとサイチョウの保全を現地で見ること。1頭のゾウは1日に200～300キロの草を食べ、100キロの水を飲むという。川岸にゾウの食草のネピアを700本植えたが、帰国後現地から、洪水で河岸が削られ一部は枯れるだろうとの連絡が入った。ゾウの食草地の保全には気の遠くなるような取り組みだが、現地の高校生もボランティアで頑張っている。笑顔がステキだった。

サイチョウの巣箱かけは、ネピア植えとは比べ物にならないくらい大変だった。以前は100キロあったが改善されて今は30キロ。今回はこれを40mの大木の地上30mのところへ設置する。それをたった3人でやっている。サイチョウは慎重な鳥で、何度も下見をして5年ぐらい確かめてやっと巣箱を利用する。ところが熱帯雨林では巣箱の劣化が激しく、5年ぐらいで使えなくなるという。え～～～！メンバーの方たちの熱い熱い熱量に頭が下がる。今回でボルネオは4回目だが、いつもこの雄大で感動的な自然に生きる動物や植物、そしてそこに住む人たちの素朴な姿に心惹かれながら、消化不良のモヤモヤから逃れられずにいる。あと、何年、いや何十年たてばサイチョウが自然のウロで子育てできる巨樹が育つのか。それまでサイチョウは命をつなぐことができるのか。こんな細々とした取り組みで、危機に瀕している生物たちを救えるのか。スカウからサンダカンへの帰路、延々と続くアブラヤシを見ながらここが全てジャングルで、ゾウもオランウータンもテングザルもカニクイザルも、サイチョウも、みんな人知れず、姿も見せず、何千年、何万年もここに暮らしていたのに、みんな突然住処を追われ、身ぐるみはがれてさまよう羽目になってしまった。

「知るは愛するの始まり」というのが私のモットーだが、ボルネオは知れば知るほど心をブルーにさせる。

「地球は人間だけのものでない。」ことをまたしても思わざるを得ない日々だった。

SACHIKO



サラヤに入って3年、ついに念願のボルネオ訪問が叶いました！ 湿気と虫の多さにびっくりしつつ、毎日が新鮮な体験でした。

「緑の回廊」は話で聞くのと、実際に見るのとでは全然違って、保全区域の狭さに驚きました。こんな限られた場所で動物たちが暮らしているかと思うと、胸がギュッとなります。しかも、昔伐採された森が100年かけて再生してきた場所だと知って、自然の力強さと同時に、もう手つかずの森はほとんどないんだな...と実感。

ボートクルーズはまさにリアルなジャングルクルーズで、毎回違う発見があってワクワク！ 保全活動にも参加できて、現地の人たちのサイチョウやボルネオゾウへの想いに触れられたのも印象的でした。

帰ってきてからは自社商品のラベルに描かれたボルネオの生き物たちがぐっと身近に感じるように。見るたびにあのジャングルの風景や生き物たちを思い出します。

個人では絶対できない体験をさせていただき本当にありがとうございました！ 同行者の皆さんも、ガイドさんもユニークな方々ばかりで、毎日笑って楽しく過ごせました。また行く機会があればもっと動植物を覚えて、深く楽しみたいなと思っています！

もしかして...酒豪？！

Y さん



サイチョウの巣箱結構大きくて、設置が大変なことを今回実感しました。新たな知識：レアなオナガサイチョウが巨鳥であること、サイチョウ全般が留鳥なこと、1-2-3-滑空は多分カササギサイチョウ？。次回はゾウと夜行性動物を見たい。

オラン ムマンチン（マレー語で釣り人） 🎣

T さん



ボルネオ5回目になりますが、かわらずにワクワクドキドキがいっぱいで、今回も満喫してまいりました♪しかも、野生動物の保全活動に参加が出来て、とても有意義な時間を過ごしました。また来るゾウ! 🐘

お菓子だいすき

L さん



ボルネオの自然や生物を朝から夜まで存分に満喫できる旅だった！そして、人と象の予期せぬ衝突を防ぐ"象のフードコリドープロジェクト"を実際に見、聞き、手伝うことで活動内容の重要さや木の成長速度の速さを身をもって知ることができた。

また、ボルネオの国鳥であるサイチョウの巣を作る事等で保全活動をおこなう"サイチョウプロジェクト"にも参加でき、現場活動の大変さや今後の期待を感じることができた。

最後に、個人での旅が多い私は、皆と同じ行動なので安心して活動できたし、何よりこれらの貴重な体験を、同じ興味や関心を持った仲間達と共に味わえたことが宝物のような貴重な経験になった

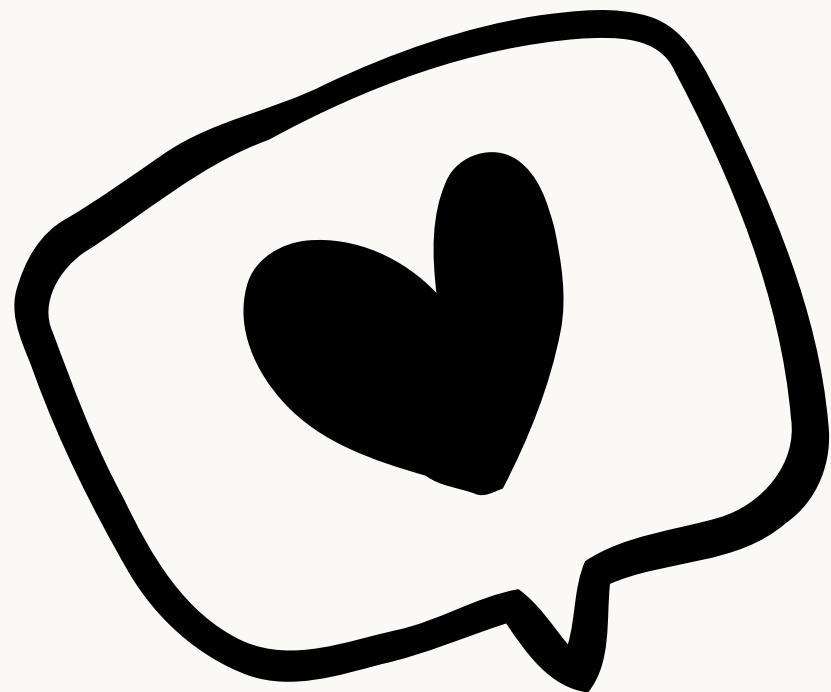
どこでも味を最大限に追及、そんな罰金王

YASUNORI

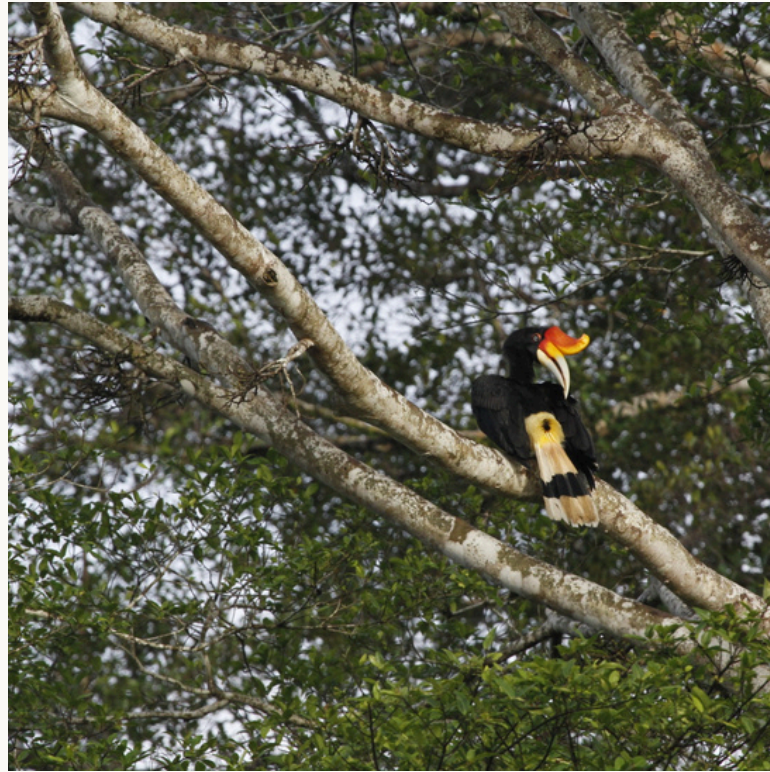


象の足あとと
僕の足を比べてみる



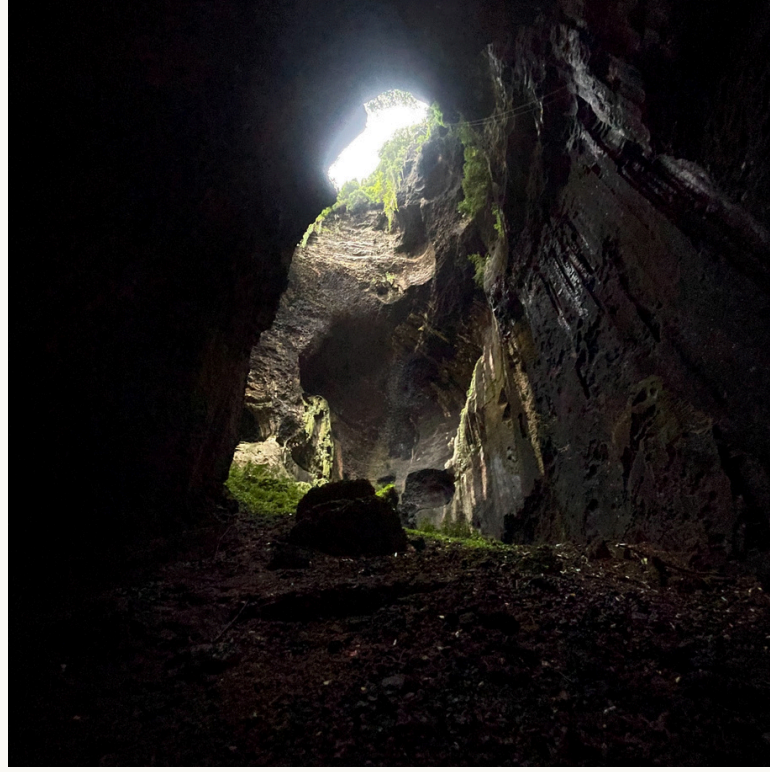
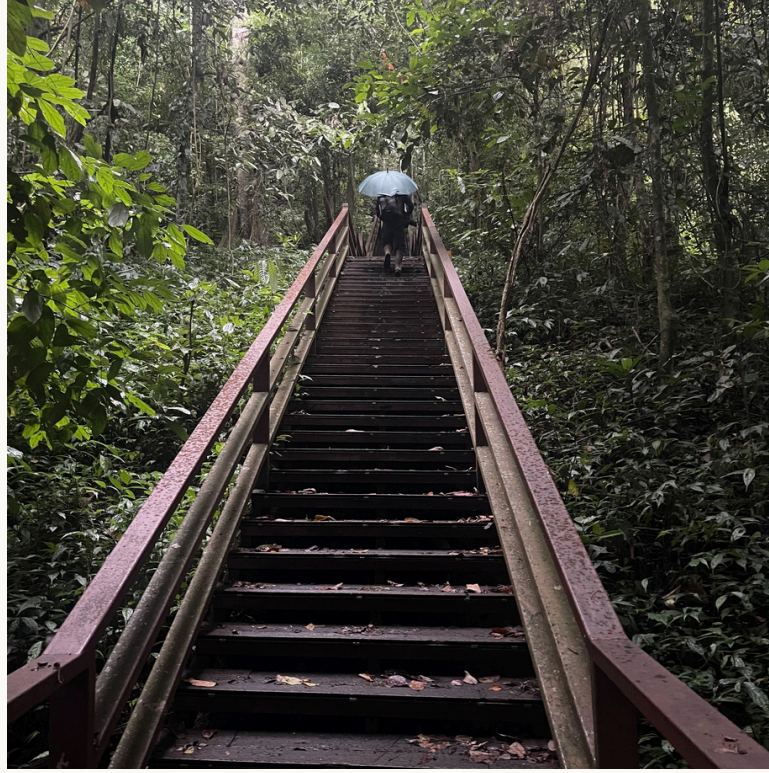










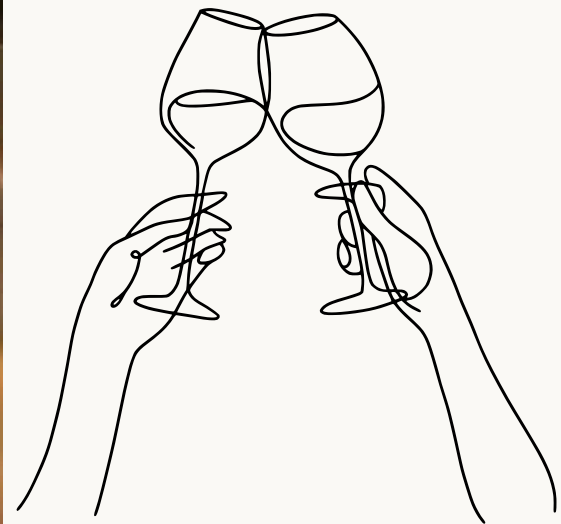
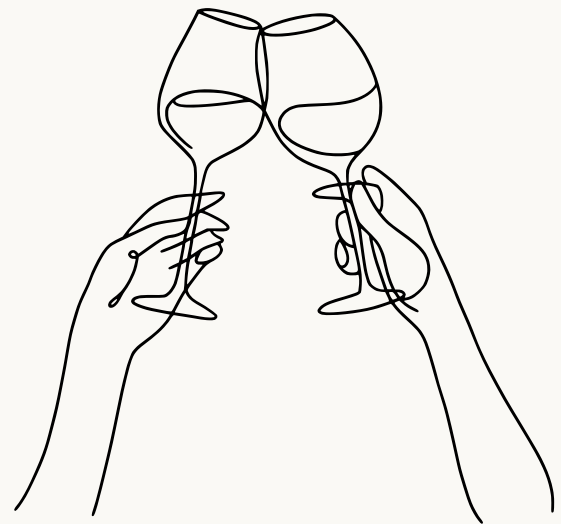


NETTAIQUEST.COM



NETTAIQUEST.COM







**WANT TO
JOIN
NETTAI?**

NETTAIQUEST.COM

nettaiquest.com

